

新光ブラジル債券ファンド

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資することによって、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指すことを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年6月11日～2019年12月9日

第125期	決算日：2019年7月8日	
第126期	決算日：2019年8月8日	
第127期	決算日：2019年9月9日	
第128期	決算日：2019年10月8日	
第129期	決算日：2019年11月8日	
第130期	決算日：2019年12月9日	
第130期末 (2019年12月9日)	基準価額	1,747円
	純資産総額	40,448百万円
第125期～ 第130期	騰落率	△0.8%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第125期首： 1,882円
 第130期末： 1,747円
 (既払分配金120円)
 騰落率： △0.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場は堅調となったものの、ブラジルリアルが対円で軟調となったことから基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第125期～第130期 (2019年6月11日 ～2019年12月9日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	12円	
(投信会社)	(4)	(0.241)	
(販売会社)	(7)	(0.377)	
(受託会社)	(0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.064	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.064)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	
合計	13	0.707	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

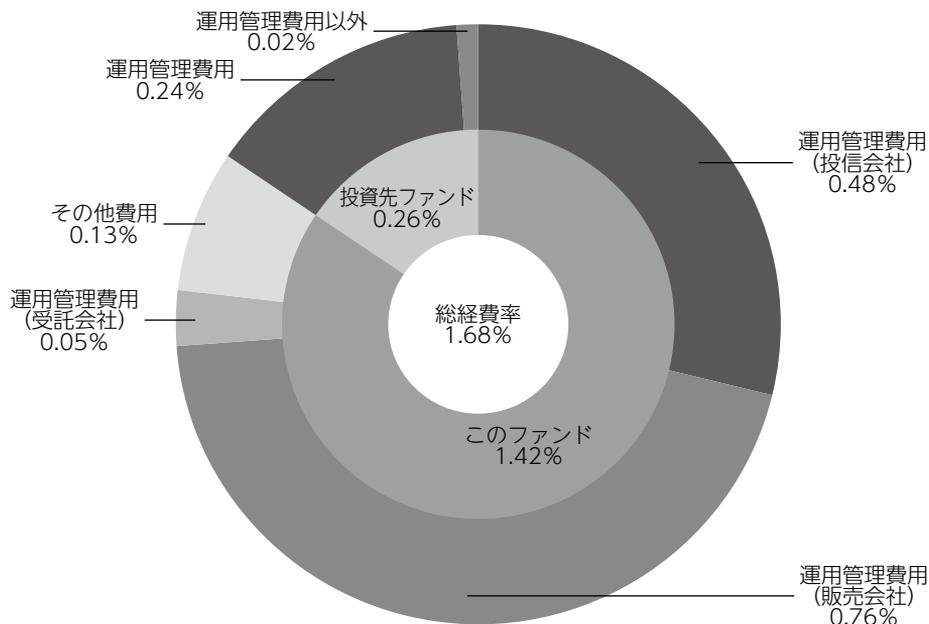
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



総経費率 (①+②+③)	1.68%
①このファンドの費用の比率	1.42%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

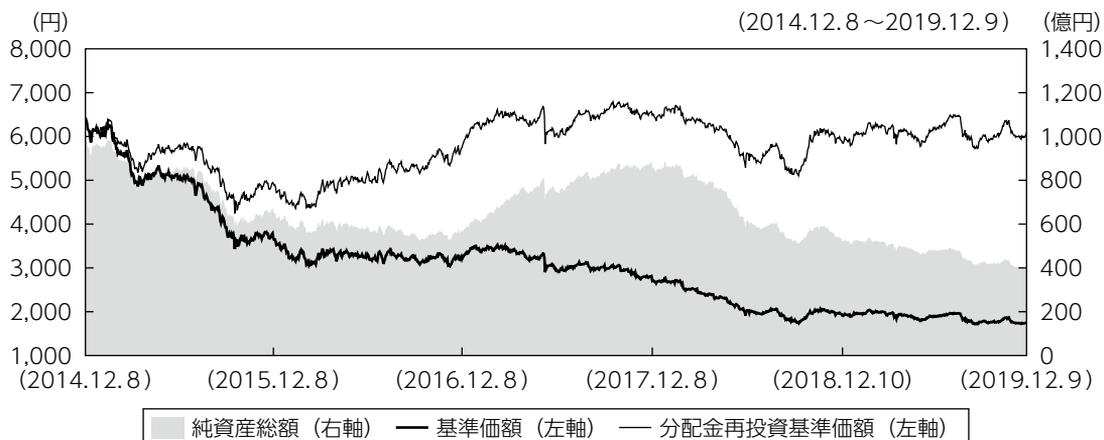
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年12月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

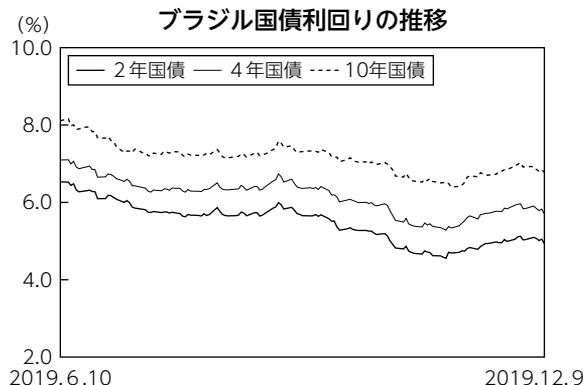
	2014年12月8日 期首	2015年12月8日 決算日	2016年12月8日 決算日	2017年12月8日 決算日	2018年12月10日 決算日	2019年12月9日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	6,432	3,678	3,200	2,703	1,908	1,747
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,360	950	900	545	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△23.3	16.5	12.8	△9.8	4.1
純資産総額 (百万円)	99,296	65,491	56,206	85,282	52,037	40,448

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

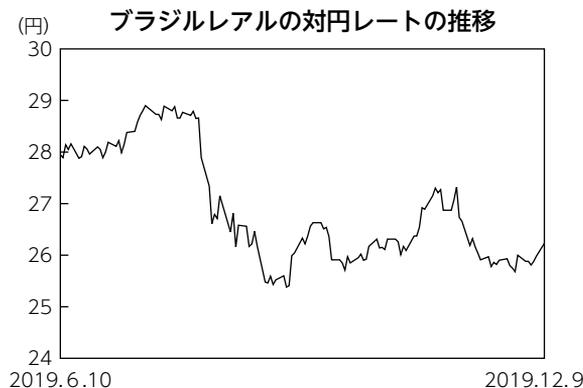
● ブラジル債券市場

引き続き低成長が継続する中、ブラジル中銀の利下げなどを背景に緩やかながらも景気回復の流れが継続しました。このような中、年金改革法案が成立しました。これにより、ブラジルの財政が中長期的に改善すると見込まれています。ブラジル国債利回りは低下（価格は上昇）しました。ブラジル中銀はインフレの落ち着きが窺える中、景気の下支えとして複数回に亘り利下げを実施しました。



● 為替市場

ブラジルレアルは、先進国の金融緩和強化の動きや年金改革法案の成立などが下支えとなったものの、ブラジル中銀の利下げや米中間の貿易問題などを受けた世界的な景気の減速懸念などを受けて対米ドル、対円ともに下落しました。



● 短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

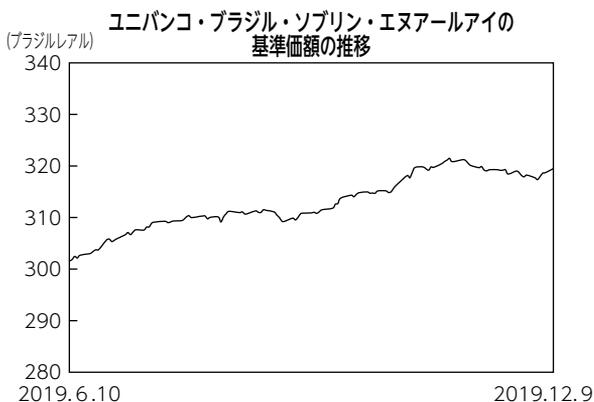
ポートフォリオについて

●当ファンド

資金動向に応じてブラジル債券・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジル債券・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ブラジル債券・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、物価連動債を中心にポートフォリオを構築しました。デフレーションは利下げの動きを睨みながら調整し、作成期末時点では長期化した水準を維持しました。



※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

●短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2019年6月11日 ～2019年7月8日	2019年7月9日 ～2019年8月8日	2019年8月9日 ～2019年9月9日	2019年9月10日 ～2019年10月8日	2019年10月9日 ～2019年11月8日	2019年11月9日 ～2019年12月9日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	1.03%	1.09%	1.12%	1.13%	1.10%	1.13%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	896円	902円	909円	916円	924円	931円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、ブラジル中銀の利下げ余地が残っていると考えられ、緩やかながらも景気が回復すると見込まれます。ブラジルの政策金利は、2020年以降は緩やかながらも景気の緩やかな回復などを受けて利下げサイクルが終了する可能性があります。

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

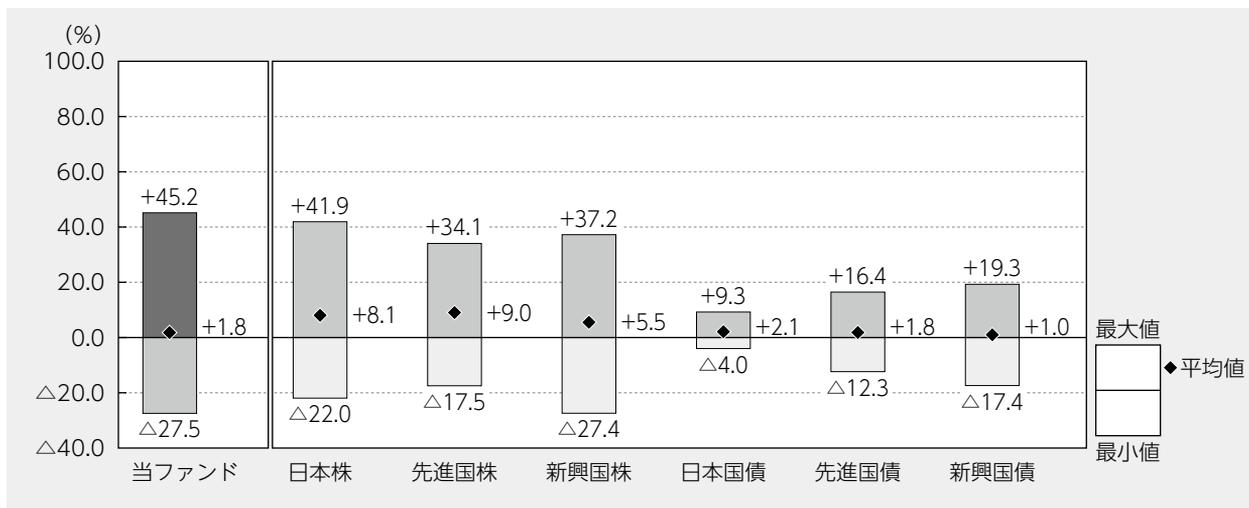
●短期公社債マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日（当初2018年12月10日）まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	①ブラジル籍外国投資法人 ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券（ブラジルリアル建） ②内国証券投資信託（親投資信託） 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルリアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ブラジル債券・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年12月～2019年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年12月9日現在)

◆組入ファンド等

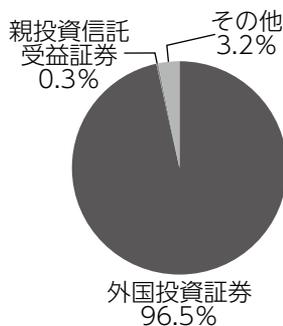
(組入ファンド数：2ファンド)

	第130期末
	2019年12月9日
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	96.5%
短期公社債マザーファンド	0.3
その他	3.2

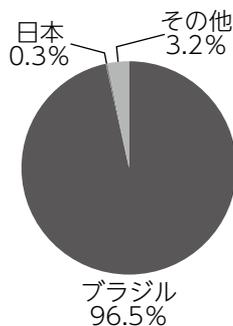
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

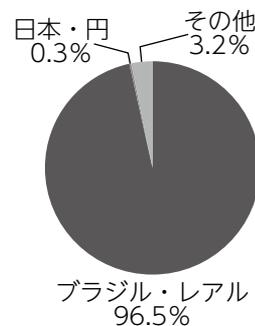
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

純資産等

項目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
	2019年7月8日	2019年8月8日	2019年9月9日	2019年10月8日	2019年11月8日	2019年12月9日
純資産総額	48,165,978,044円	44,022,629,859円	42,349,185,720円	41,774,029,139円	42,031,024,469円	40,448,113,087円
受益権総口数	250,116,671,847口	243,035,195,786口	239,749,600,534口	238,007,555,968口	233,670,680,547口	231,472,370,606口
1万口当たり基準価額	1,926円	1,811円	1,766円	1,755円	1,799円	1,747円

(注) 当作成期間(第125期~第130期)中における追加設定元本額は8,168,193,204円、同解約元本額は31,059,898,647円です。

組入ファンドの概要

[ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ]

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

(2018年1月1日～2018年12月31日)
 当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆組入上位10銘柄

(2018年12月31日現在)

	銘柄名	最終利回り	償還年月日	比率
		%		%
1	NTN-B (物価連動国債)	4.23	2023/5/15	18.1
2	LTN (割引国債)	6.93	2020/7/1	14.6
3	NTN-B (物価連動国債)	4.08	2022/8/15	13.8
4	LTN (割引国債)	6.38	2019/4/1	10.9
5	NTN-B (物価連動国債)	2.76	2019/5/15	6.1
6	NTN-F (利付国債)	8.52	2023/1/2	6.0
7	NTN-B (物価連動国債)	4.97	2050/8/15	4.4
8	NTN-B (物価連動国債)	3.44	2021/5/17	4.0
9	NTN-F (利付国債)	9.18	2027/1/4	3.6
10	NTN-F (利付国債)	9.03	2025/1/2	3.2
組入銘柄数			24銘柄	

(注1) 比率は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ投資証券(ブラジルレアル建)の債券時価総額に対する評価額の割合で、小数第2位を四捨五入しています。

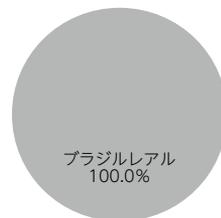
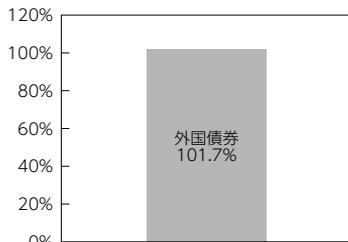
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

(注3) 上記の表は、イタウ・ユニバンコ・エス・エーが作成したデータをもとに記載してあります。

◆資産別配分

◆国別配分

◆通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

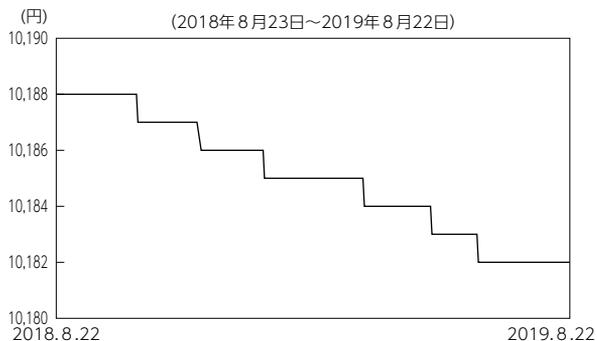
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 上記の表は、イタウ・ユニバンコ・エス・エー提供の財務書類等より作成してあります。

【短期公社債マザーファンド】

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。 (2018年8月23日～2019年8月22日)

◆組入上位10銘柄

(2019年8月22日現在)

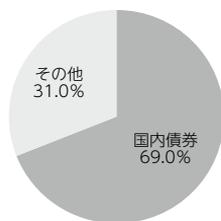
	銘柄名	業種/種類別	通貨	国(地域)	比率 %
1	平成20年度第9回 奈良県公債	地方債証券	円	日本	55.2
2	第336回大阪府公募公債(10年)	地方債証券	円	日本	13.8
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			2銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

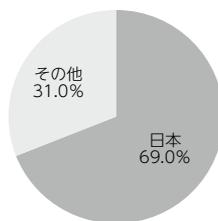
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

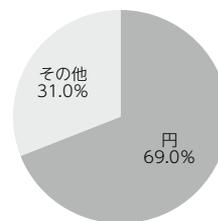
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

